

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0171100308), 法人名 (有限会社アクティサービス), 事業所名 (グループホーム向陽台 3F たけのこ), 所在地 (千歳市白樺2丁目1-1), 自己評価作成日 (平成27年10月26日), 評価結果市町村受理日 (平成28年1月4日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・入居者主体ということを感じて心かけ個々の思いを感じ信頼関係を築けるよう取り組んでいる
・職員のスキルアップの為に内部研修、外部研修へ参加できる様な時間を設けている
・町内会の方との定期的な交流をもち、安心して暮らせるような環境作り力を入れている

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL: http://www.kaijokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou\_detail\_2014\_022\_kani=tr ue&JigyosyoCd=0171100308-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室), 訪問調査日 (平成27年12月8日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

千歳市郊外の閑静な住宅地に建ち、近くにはスーパー・コンビニ・公園・病院・中学校等があり、バス停から徒歩3分と利便性が良い事業所である。鉄筋4階建てビルを改装し、3・4階がグループホーム、1・2階は高齢者向け住宅・デイサービスセンター及び共用スペースになっている。10畳の居室はベッド・クローゼット・ドレッサー・ナースコールを完備しており、家族や友人が訪ねて来てゆったりと過ごすスペースがある。職員は笑顔と優しさで利用者を支え、安心・安全なケアを提供し、信頼関係と馴染みの関係の中で共に過ごす時間を大切にしており、家族の信頼も厚い。利用者の経験や知識が発揮できるように、遠出の外出や行事の準備・参加を支援している。また身体機能に合わせたレクリエーションを日課とし、事業所内でも楽しく過ごせるよう工夫している。地域住民とは積極的に交流する機会を持ち、事業所の広いスペースを開放し、カラオケ・餅つき・喫茶等の『地域交流会』を企画実行し、多数の近隣住民と利用者や職員が参加している。さらに2つの町内会の回覧板に、事業所便りを添付する等良好な関係を築いている。恵まれた住環境の中で利用者をやさしく支え、地域に根ざした家庭的で暖かい、地域密着型事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 describe various service outcomes and staff/user interactions.

## 自己評価及び外部評価結果

| 自己評価              | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |   |
|-------------------|------|--|--|---|---|
|                   |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I.理念に基づく運営</b> |      |  |  |   |   |
| 1                 | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | 事業所独自の理念を作りユニット内に分かりやすい言葉に直したものを掲示し、理念が反映されているのかを意見交換をしながら日々のケアを行える様に取り組んでいる。  | 運営理念は、事業所のパンフレットや毎月発行する事業所便りに記載し、各ユニットやエレベーター前に掲示している。職員は理念を掘り下げ、理念に基づいたケアの実践に努めている。            |   |
| 2                 | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している   | 定期的に地域交流会、夏祭り、敬老祭などに参加していただき日常的な交流が途絶えないよう取り組んでいる。                             | 町内会行事に参加している。事業所の地域交流会や避難訓練には地域の人達が参加し、日常的に交流している。中学生の職場体験やボランティア訪問もあり 事業所便りは町内の回覧版に添付している。     |   |
| 3                 |      | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている   | ホーム内の行事や、中学生の体験学習などを通して認知症の人への理解を深めている。  |   |   |
| 4                 | 3    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                      | 2ヶ月に1回運営推進会議を開催しホーム内の状況を報告し 意見交換の場を設けており、そこでの意見、助言をサービス向上に活かしている。              | 2ヶ月に1度定期開催している運営推進会議では、地域住民・地域包括支援センター職員等が出席し、事業所の取り組み・地域との交流・事故報告・防災計画等が話し合われ、事業所の運営に効果を上げている。 | 運営推進会議に家族の参加を促す工夫と、事業所の取り組み状況が伝わるように、レクレーション・行事予定と報告・事故報告・職員の異動・地域との交流・研修受講などを、解りやすく整備した議事録を、参加者や家族に送付することを期待したい。 |
| 5                 | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる   | 推進会議のメンバーに包括支援センターの方もおり、意見交換や相談に乗っていただいたり、生活保護の方も保護課の方と連絡を密にし協力関係を築く様に取り組んでいる。 | 市内12カ所の、グループホームでつくる『絆の会』に参加し、サービスの質の向上に取り組んでいる。地域包括支援センター職員は、運営推進会議に出席し、意見交換を行っている。             |   |
| 6                 | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | ホーム全体で勉強会を開いたり外部の研修に参加したりして正しい知識を身につけ身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。                    | 指定基準を具体的に確認して、基本的なケアの実践に活かすよう職員相互の共有をはかり、利用者の安心と安全の遵守に努めている。年一度開催する拘束や虐待の内部研修で、学ぶ機会を設定している。     |   |
| 7                 |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている  | ホーム全体で勉強会を開いたり外部の研修に参加したりして正しい知識を身につけ虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている。               |   |   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|--|---|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 研修など学ぶ機会は有るが、制度を理解し活用できるまでには至っていない。                               |   |                   |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時、解約時、改定時などは十分な説明を行っており理解、納得を図っている。                             |   |                   |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                      | 意見や要望があった際は出来る限り対応できるように取り組んでいる。                                  | 意見が出やすいように、意見箱を設置しており、利用者家族とのコミュニケーションを大切に、来訪時の会話の中から意見要望を聞いている。『意見要望シート』に家族の希望等を記入してもらい、現状の把握に努めている。 |                   |
| 11   | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 会議、個別面談などで職員の意見や提案を聞く機会をもうけ、出来る限り反映できるように取り組んでいる。                 | 管理者は、全体会議やユニット会議で積極的に職員の意見を聞いている。年一度、本部の部長との個人面談では、職員のメンタルケアやストレスケアにも配慮し、向上心を持って働けるよう取り組んでいる。         |                   |
| 12   |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職場環境、条件の整備に努めており職員が少しでもやりがいや、向上心を持って働けるよう取り組んでいる。                 |   |                   |
| 13   |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 内部の研修や人選により外部の研修に参加できる機会を設けており働きながら学ぶことが出来る環境がある。                 |   |                   |
| 14   |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業者で、絆の会を発足しておりネットワーク作りや勉強会、運動会などの活動を通じ、サービスの質の向上をさせていく取り組みをしている。 |   |                   |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------|------|---|---|---|-------------------|
|                            |      |   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |   |   |   |                   |
| 15                         |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人の希望、不安なことに耳を傾けながら安心できるように職員間で情報を共有し、良い関係が築けるように取り組んでいる。               |   |                   |
| 16                         |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入所時、入居後も不安や要望に耳を傾け安心して生活出来るように努めている。                                    |   |                   |
| 17                         |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 面談時、入所時に本人、家族が必要としている事を把握し、的確な支援が出来る様に努めている。                            |   |                   |
| 18                         |      | ○本人と共に過ごし支え合う関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                           | 本人の生活のペースを主体として、共に支え合い生活していける環境作りに努めている。                                |   |                   |
| 19                         |      | ○本人を共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている            | 本人家族と情報交換をし、共に本人を支えていけるように取り組んでいる。                                      |   |                   |
| 20                         | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                        | 本人の希望を一つでも叶えられる様に、家族の協力を得ながらなじみの関係を継続できる様に取り組んでいる。「墓参り」にも職員が同行する場面もあった。 | 日本古来の風習や生活習慣を大切に、事業所内では正月・節分・ひなまつり・餅つき等を楽しんでいる。馴染みの関係継続を維持するために、自宅に帰る利用者の送迎支援もしている。 |                   |
| 21                         |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                     | 利用者同士のトラブルが起きないように職員が間に入り、孤立せずお互いが関わりを持てるように支援している。                     |   |                   |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
|                                    |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                     | 契約終了後も必要に応じ、情報交換し、相談や、支援に努めており、再入居された方もいる。  |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |   |                   |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 本人の言葉や、家族との情報交換の中で、意向の把握に努めている。   | 一人ひとりの思いや意向は共に生活する中で把握し、家族からは『意見要望シート』に記入したものが送られ、その情報を得て、心身の状態に配慮しながら希望に添えるように努めている。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 本人、家族からの情報を基に職員間で情報を共有しこれまでの暮らしの把握に努めている。   |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 職員間の情報を共有し、個々の過ごし方や心身状況等 現状の把握に努めている。   |   |                   |
| 26                                 | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人、家族の要望を第一に考えユニット内でカンファレンスを行い現状に即した介護計画を作成している。また3ヵ月後に評価を行い今後のサービスをどのようにするか全員で取り組んでいる。 | 身体の変化や本人・家族の要望を聞き、今一番必要としている事をケアプランに反映している。医師や看護師と意見交換を行い、常に現状に即した介護計画を作成している。        |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別台帳、連絡ノート、申し送り情報で共有するように努めているが、正確に把握出来ていなかったり、途絶えてしまっている事もある。                          |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | その都度、本人、家族と相談し一人ひとりの思いを実践できるように、職員体制や日常業務の変更を臨機応変に行なっている。                               |   |                   |
| 29                                 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                         | 町内、医療関係、地域の商店等を利用しながら暮らしを楽しめるよう支援している。  |   |                   |
| 30                                 | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                     | 希望に応じかかりつけ医との情報交換や往診、医療連携時の相談、指示に従い適切な医療を受けられる様に支援している。                                 | 利用者希望のかかりつけ医を受診し、送迎支援をしている。2週に一度、協力病院医師による訪問診療があり、歯科や皮膚科の往診もある。                       |                   |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                  |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31                               |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                      | 職場内には看護師は常駐していないが、24時間体制で相談できる体制を取っている。                                       |  |                   |
| 32                               |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院時は、ホーム、家族、病院で連絡をとり、安心して治療を受け、早期に退院できる様な関係作りを行っている。                         |  |                   |
| 33                               | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 契約時にもホームで出来る事、出来ない事の説明を行い、ホーム、家族、病院、地域の関係者と共に支援に取り組んでいる。                      | 重度化や終末期の指針を策定し、事業所ができることを説明している。重度化時には、医療機関との連携はとれており、医師とはすぐに連絡が付く。事業所内での看取りについては、全職員が知識を重ね、チームとして取り組めるよう準備している。 |                   |
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | 講習会に参加したり、マニュアルは作成している。日常的に訓練を行う必要が有る。  |  |                   |
| 35                               | 13   | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | 年に2回消防訓練を行っている。日勤帯、夜間想定と状況を変えて行い、消防職員からの助言をもとに改善に努めている。                       | 非常災害時の対策は、重要事項説明書に明記している。消防署参加のもと年2回訓練を行っており、近隣住民も参加している。水や食料品等、災害時備蓄品は用意してある。                                   |                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |                   |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている  | 1人1人の誇りやプライバシーを損ねないように配慮した対応を行っている。排泄関係に関しては隠語を使用したり、申し送り時は名前を出さないなどの工夫をしている。 | 利用者のプライドや羞恥心を大切に、誇りを傷つける事がないように注意している。個別ファイルは、番号で表示しプライバシーに配慮した対応をしている。  |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている   | 個々の思いや希望を表しやすい環境作りや、信頼関係を築けるように働きかけている。                                       |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している                                  | 本人の希望を一つでも多く叶えられる様にチーム全員での支援に取り組んでいる。   |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している  | 一緒に服を選んだり、理美容の際には髪型を考えたり、希望時にはマニキュアを付けたら おしゃれを楽しむ支援を行っている。                    |  |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------|------|--|---|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40   | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている         | 個人の能力に合わせ、片付けや、盛り付け、メニュー作成等 関わる事が出来る環境作りに取り組んでいる。   | 利用者は、下ごしらえや後片付け等を行なっている。個々の嚥下・咀嚼・嗜好に配慮した温かい食事を提供しており、管理栄養士の指導も受けている。職員はさりげなく食事介助し、食事が楽しい場となるように支援している。 |                   |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている              | バランスよく食事ができる様にながら、主食をご飯からパンに変更したり、食事の時間をずらしたり習慣に応じた食生活を送れるように工夫している。                      |  |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                       | 個々に応じた口腔ケアを行っている。必要時には歯科往診行い助言を受けている。   |  |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている       | 排泄チェック表を作成し、一人ひとりの排泄パターンを把握し個人に合った排泄の支援をしている。   | 一人ひとりの心身の状況や、個々のサインを見逃さないように、尊厳に配慮したトイレ誘導をしている。各ユニットにはトイレが5カ所あり、使いやすく整備され、清潔である。                       |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                       | 乳製品、下剤の調整、医療連携先の病院に相談を行ない、便秘にならないように取り組んでいる。  |  |                   |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 職員の体制上夜間の入浴は行なってはいないが、朝入浴時間を増やしたり出来る限り希望に添えるように支援している。                                    | 利用者の希望する時間に、入浴できるよう支援している。入浴拒否傾向の利用者には、時間や気分を変えたり声かけの方法を工夫している。必要に応じ、清拭・シャワー浴・足浴に対応している。               |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                        | 眠れない時は、本人の時間に合わせ職員と一緒に過ごしたり、安心して気持ちよく眠れるよう希望に応じた対応をしている。                                  |  |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                   | 薬の説明書を個別台帳と一緒に綴りいつでも確認できるよう工夫したり、服薬時には口腔内に残らないように確認をするように努め追加処方などあった際は記録に残し症状の変化に気をつけている。 |  |                   |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている      | 能力に応じ役割や、楽しみ事を見つけ気分転換や、張り合いのある生活ができる様に支援している。   |  |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|--|---|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                     | 全ての方の希望に沿うことは出来ていないが、近くのスーパーやコンビニなどに買い物や家族の協力を得て外出、外食、外泊の支援を行っている。            | 天候を見ながら、散歩や買い物に出掛けている。自然に屋外へ出掛けられるように、外出や外食行事を計画している。事業所にはテラスや中庭があり、利用者が気楽に屋外に出て、外気浴ができる様に配慮している。   |                   |
| 50   |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 家族、本人の希望によりホームでお小遣いを管理している方が殆どだが、外出の際等は本人にお金を渡し買い物、支払いをできる様に支援している。           |   |                   |
| 51   |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 本人の希望に合わせて電話、手紙の投函を行える様支援している。  |   |                   |
| 52   | 19   | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 花を飾り季節感を出したりトイレ、浴室に目印となるような工夫をしたり、温度、湿度の管理を行い、ソファを置き各々が居心地よく過ごす事が出来る空間を作っている。 | 居間・食堂・洗面所・階段・廊下等は広くゆったりとした造りになっており、温度・湿度に気を配り快適な居住空間を作っている。2階には、会議室・ホームシアター完備の20畳の和室・友人や家族とくつろげるラウンジもある。3階のテラスや南向きの中庭は日光浴や暖かい日のティータイムに利用している。 |                   |
| 53   |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | テーブル、椅子、ソファの配置を身体レベルに合わせた工夫を行い利用者同士が自由に過ごせる居場所を作っている。                         |   |                   |
| 54   | 20   | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 馴染みの物を居室内に持ち込み、好みの空間で生活出来るようにしている。仏壇を持ち込み毎日お供えをしている方もいる。                      | 10畳の居室には、クローゼット・ドレッサー・ベット・ナースコールが完備しており、家庭から昔馴染みの日用品等を持参し、家族写真や思い出の品を飾り、清掃もいき届き、居心地良く過ごせるよう配慮している。  |                   |
| 55   |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している  | 手すりや、目印をつけ職員同士声を掛け合いながら見守りを行い安全で、自立した生活を送る事が出来るように工夫している。                     |   |                   |